

基山町

No.72

令和元年 第4回定例会

12月議会

議会だより

基山町議会 | 検索

町議会ホームページ

<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>



【特集】

活発な議論を交わした
子ども議会

子ども議会	2
定例会・臨時会の結果	4
各常任委員会議案審議	6
一般質問	9
議会報告会	16

令和2年1月31日発行

中学生による子ども議会 10月5日（土） 基肄城デー制定の条例 他2件とも可決



激論を交わした基山中学校の生徒たち

今回で3回目となる「子ども議会」中学生による子ども議会は、町長役、執行部役、議員役も全て生徒が行い、議員はその補佐をしました。

議案も中学生が自ら考え、議場で審議を行い、賛成・反対の討論を経て、採決をしました。議場での経験は生徒たちの今後の活躍・成長の糧になると思います。

「基肄城デー制定に関する条例」の制定について

提案理由：基山町の宝「基肄城」を町内外に広めるために制定し、歴史を伝承しイベントを継続的に開催する

具体的には

1. 10月の第1土曜日を「基肄城デー」とする
2. 毎年、基山町の歴史をテーマとした歴史検定を行い、認定証を発行する など



基肄城は町内では有名だが、町外の人にはあまり知らない。町外の人にも知ってもらいたいと提案する
もりやまなつえ
森山夏衣 教育学習課長



議案作成に真剣な生徒たち

放課後に集まって事前打合せ

基山町の課題は何か？どうすれば基山町は良くなるのか？私はこうしたいと夢を膨らませる



4番 たかはし つばさ 高橋翼 議員



3番 なが た ゆうだい 永田湧大 議員



2番 もりした ゆうや 森下湧也 議長



1番 し みずりょう た 清水 椋太 議員

活発に発言した
9人の議員



真剣なまなざしで見つめる大勢の傍聴者



基山町の未来を見据えて
ながの あつし
長野篤志 町長

傍聴者の声

40代女性：子どもたちの大きな構想に驚いた。

50代女性：生徒さん達の姿に未来を感じました。



観光客を呼ぼうと提案を行う
わたなべ みなと
渡邊水翔 まちづくり課長

「基山町に観光客を呼ぼう条例」の制定について

提案理由：自然豊かな美しい歴史のまち、基山町に多くの観光客が訪れ、満足していただくように創意工夫する

具体的には

1. 基山（きざん）に多くの観光客が気軽に登山できるように整備する
2. ホタルが舞うまち基山町をアピールするため、ホタル観賞をしながら食事できるレストランを整備する など

参加した中学生の感想

- 思ったより難しかった。でも参加できて良かった。
- 自分の町への関心も深まり、良い体験になった。
- 町民の代表の議員がどんな仕事をしているのか知ることができた。
- こうやって町のことが決まっていくなんだと思った。
- 自分たちの条例が決まる時はとても嬉しかった。



農業の将来像を提案する
とびまつ みほ
飛松美歩子 産業振興課長

「耕作放棄地を活用したオリジナルファームづくりに関する条例」の制定について

提案理由：農業従事者の高齢化に伴う耕作放棄地を、町民が活用して、収穫の喜びの場を設ける

具体的には

1. 町民の協力で作物を作り、販売先を拡大する
2. ファームフェスタを年1回企画する など



きはら なつみ
10番 木原奈月美 議員



なかがわ みらい
8番 中川未来 議員



かわはら しゅうと
7番 川原嵩翔 議員



うちやま たくむ
6番 内山拓武 議員



あねがわ かつや
5番 姉川勝哉 議員

令和元年度11月臨時会 一般会計 補正予算
2億2479万円を追加 予算総額は78億131万円に

ふるさと納税・災害復旧・農業振興費などを増額



農業を楽しむSGK農園（6区）

主な歳出

ふるさと納税返礼品等	1億9996万円
林道施設災害復旧工事等 (小松、古屋敷、京の坪等)	1749万円
プレハブ撤去手数料、施設備品 (SGK農園)	89万円

令和元年度12月定例会 一般会計 補正予算
1億8146万5千円を追加 予算総額は79億8278万円に

子育て・交通安全・災害復旧費などを増額



伐採後、見通しのよくなった道路（けやき台）

主な歳出

保育対策総合支援事業費補助金 (きやま台小規模保育園)	1650万円
施設型給付費 (基山バディ認定こども園園児増)	3210万円
地域型保育施設給付費 (ころころ・ちびはる保育園園児増)	1248万円
修繕料 (基山小学校児童数増加による教室増)	799万円
防犯カメラ設置工事 (けやき台駅駐輪場、白坂調整池、総合公園駐車場・遊具広場、中央公園)	137万円
樹木伐採委託料 (けやき台地区の白坂久保田2号線、北部環状線)	624万円
農地農業用施設・林道施設災害復旧工事 (黒目牛、京の坪、九千部横断線、岩坪線)	1431万円

国民健康保険特別会計 補正予算
14万5千円を追加
予算総額は20億9217万円に

下水道事業会計 補正予算
支出を2068万円追加
資本的支出予定総額 1億7058万円

全議案および賛否表

全会一致で可決承認・同意した議案

令和元年 第2回臨時会（11月5日）

議案番号	議 案 名
議案39	基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）請負契約について
議案40	令和元年度一般会計補正予算（第5号）
承認 4	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度一般会計補正予算（第4号））

令和元年 第4回定例会（12月3日～13日）

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議案41	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	議案51	非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案43	環境基本条例の制定について	議案52	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正について
議案44	環境審議会条例の制定について	議案53	職員の給与に関する条例の一部改正について
議案45	町営駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について	同意 7	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
議案46	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	同意 8	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案47	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議案54	令和元年度一般会計補正予算（第6号）
議案48	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	議案55	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案49	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	議案56	令和元年度下水道事業会計補正予算（第3号）
議案50	町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		

賛否が分かれた議案 ○賛成 ×反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	賛 否 表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	桑野 久明	久保山 義明	河野 保久	重松 一徳	鳥飼 勝美	大山 勝代	松石 信男
議案42	基山っ子みらい館の設置及び管理に関する条例の制定について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

選任に同意した委員

任期
令和元年12月26日から
令和4年12月25日まで



鳥飼 秀巳氏（園部）

基山町固定資産評価
審査委員会委員

任期
令和2年1月1日から
令和5年12月31日まで



亀山 牧子氏（小倉）

基山町教育委員会委員

基山町会計年度任用職員の条例制定

非正規職員にも期末手当 来年度から

審査、調査
の担当課

総務企画課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第4回定例会 議案審議

目的

地方公務員法・地方自治法の改正で特別職非常勤職員の要件見直しによる。現在の嘱託職員・日々雇用職員が会計年度任用職員となる。また区長は、非常勤の地方公務員ではなくするため、町長が委嘱し事務委託を行う。

問

制度改正で報酬や継続雇用に不利益は生じないか。

答

期末手当が支給されることになる。報酬は経験年数や職種に応じて昇給もある。単年度雇用だが再任できる。

問

基山町の嘱託職員と日々雇用職員は何人か。

答

嘱託職員が31人、日々雇用職員は154人。

問

基山町環境基本条例制定の目的は。

答

環境の保全と創造の基本理念を定め、次世代に豊かな自然を残し、住みよいまちにすることを目的として制定した。

提案

条例制定に伴って環境審議会委員も委嘱されるが、町民の意見を幅広く聞き、若者や女性の任用を求める。



豊かな自然にはぐくまれた町内を望む

一般会計補正予算

基山小学校の修繕料

799万円

問

基山小学校の児童増に伴う教室不足は今後も見込まれるが、どう対処するか。

答

学校とも協議し、特別教室を充てるなどの対応をする。

各種大会出場費補助金

34万円

問

鳥栖工業高校駅伝部と鳥栖商業高校女子バレー部への助成金との違いは。

答

中体連や高体連以外の社会体育の九州・全国大会への出場に補助金を交付している。

提案

対象者には、もれがないようその趣旨を周知するよう提案。

所管事務調査

消防行政について

鳥栖・三養基地区消防事務組合への所管事務調査を行った。

管轄区域は鳥栖市・基山町・みやき町・上峰町の1市3町で構成。消防組織法に基づき、職員数148人で消防・救急業務を遂行している。平成30年度一般会計決算額は14億4680万円である。近年の多発する大雨や地震等の災害は県内や筑紫野市・小郡市等と相互応援協定を締結し、体制を整えている。



機能について説明を受ける

基山っ子みらい館 設置・管理条例の制定

町民のニーズに沿った運営を要請

—— 厚生産業常任委員会 ——

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第4回定例会 議案審議

基山っ子みらい館の設置と
管理に関する条例の制定

目的 令和2年4月に

基山っ子みらい館が開館す
る。設置と管理に関する条
例制定が必要である。

問

管理体制や人員配置
の説明が不十分。ま
た、交流広場の共有部分を
保育施設として占有するこ
とは問題ないか。

答

占有は問題ない。各
関係課と連携を取り
運営する。

問

すでに基山町保育所
設置条例があるが、
廃止して良いのか。交流広
場の条例を別に策定し、
各々で管理責任の所在を明
確にすべき。重要な条例案
をなげもつと早く委員会や
議会に提出しなかったのか。
また、施設利用は日曜・祝日
が休館日になっている。日
曜開館を検討すべきではな
いか。

答

条例はこの案で進め
たい。日曜開館は必
要に応じ考える。

提案

保育所と子育て交流
広場の管理体制、職員配置
施行規則の早急整備、相談
窓口の明確化、町民のニ
ーズに沿う開館時間の再検討
を提案。



令和2年4月開館予定の「基山っ子みらい館」

基山町営駐車場の設置と
管理に関する条例の制定

目的

けやき台に町営
駐車場を設置する。設置と
管理に関する条例の制定が
必要である。

問

白坂久保田2号線出
入口や駐車スペース
など、課題が残る。警察の
了承は得たのか。事故が発
生した場合、町の責任は。

答

警察にも確認済みで
ある。安全な利用を
促し運用する。

提案

駐車場内にも防犯カ
メラを設置するなど万全の
安全対策を講じるよう提
案。

一般会計補正予算

樹木伐採委託料

624万円

目的

けやき台地区の
白坂久保田2号線改良工事
に伴う交通安全対策の一環。

問

けやき台の樹木を大
量に伐採する理由
は。けやき台のイメージを
損なわないか。

答

道路標識を遮り、視
界の妨げとなる樹木
を伐採する。

所管事務調査

は 亀の甲ため池の今後

平成30年の豪雨により
大きな被害を受けた亀の
甲ため池は、現在、令和
2年2月末の工事完了に
向け崩壊部分の復旧工事
を行っている。しかし、
その管理や所有権の問題
については、未だ根本的
な解決には至っていない。



亀の甲ため池で説明を受ける委員

当委員会では、現状を
正確に把握するため現地
視察を行い、町と水利組
合双方から意見聴取を
行った。その結果、崩壊
部分を復旧し、周辺住民
や周辺施設に対して安
心・安全を担保すること、
水利組合が納得する提案
をするよう町に要望し
た。

2学期制の導入 総合的な学力の向上へ

総務文教常任委員会

令和元年11月7日～11月9日
で視察「全国学力・学習状況調査」も
授業改善に 福井県あわら市

「総合的な学力」の向上を図るためには、授業時間の確保が最も有効と考え、2学期制を導入している。そこで生じたゆとり時間を生かし、児童が主体となる探究型の授業や補充学習等を行っている。また、「全国学力・学習状況調査」の結果を早期に採点・分析し、授業改善に生かしている。



市立金津小学校での研修

地域資源循環型農村の取り組み

福井県池田町

家庭で出た生ごみ（食の資源）を紙袋で回収し、生ごみと酪農家の牛糞と攪拌しながら堆肥を生産している。

豪雪地帯で人口が減少する中、生ごみの回収も町民の有志で行い、農産物の生産から販売・回収・土づくりまで町民が一体となって地域資源循環型農村づくりを行っている。

ゆい 結の故郷づくり交付金

福井県大野市

結の故郷づくり交付金事業は、市民参加や協働意識を醸成するため、市民自ら主体的に企画立案し、実施する事業に対し支援するものである。平成22年度から実施されている。交付金の総額は、前年度の市民税1%を限度額（令和元年度は1380万円）とし、現在自治会やまちづくり団体など9団体で事業が展開されている。

「わが町にあるものを活かす」まちづくり

厚生産業常任委員会

令和元年11月12日～11月14日
で視察

観光の島を移住・定住に活かす 香川県小豆島町

小豆島町は観光地として定着している。島というハンデキャップを魅力と捉え首都圏をターゲットにここ数年は毎年100名以上の移住者実績をあげている。そこには民間主導の組織が行政の支援を受けながらも上手く機能していた。

癒されるまちづくり

徳島県神山町

過疎の現状を受け入れ、数でなく中身を改善することでクリエイティブ人材を誘致、人口構成の健全化を図っている。古民家を活用するなど持続可能な地域を目指し、斬新で注目を集めるまちづくりを進めている。

子どもは宝

愛媛県四国中央市

紙オムツの無償配布事業は、紙のまちとして発展しているこのまちならではの取り組みである。

民間企業も地域社会への貢献が重要視され始めている。共通テーマは「子どもは宝」。



神山町の徳島県事務所



問 町営住宅の必要ストック数は

答 精査中だが今年度中に明示したい

久保山 義 明議員

問 町営住宅の必要数を公表した後、園部団地の建て替えについて、いつ、どのような判断をするのか。

答 今年度中に町の方針案を示し、令和2年度には場所や規模などで建て替えについての判断を行いたいと考えている。

問 必要数を算出する上で基準となる人口推計の根拠及び何年後の想定人口か。

答 現在算定しているのが約6年前の数字であるため、より正確な町独自の推計値で精査している。また、20年後の推計値で算定する。

問 今後の町営住宅は高齢者や単身者、ひとり親家庭等の増加が見込まれる。推計として認識済みか。

答 国土交通省の指針にも民間ストックの活用を推進しており、単純に必要な戸数を整備するという話にはなりにくい。



園部団地の建て替え、丁寧な議論を

問 町営割田団地、町営本桜団地の高層階へのバリアフリー対策として外付けのエレベーター設置の検討は。

答 そういった案件も増えているが、コスト面で考えていない。

問 町営本桜団地の空き室の利活用にあたり、特に4階では大胆な改築を行い、子育て世帯の入居促進を行うべきと考えるが。

答 今年度から町営住宅の所管替えを行った理由は、まさにその利活用があったからでもある。お金をかけるといってもまずは動きたい。



問 高原川、関屋川は含まれているか

答 含まれていないので、調査を要望する

松石 健 児議員

基山町地域防災計画とハザードマップ

問 非常用電源施設と燃料の備蓄はどこにあるか。

答 災害時の主要施設となる役場、町民会館、総合体育館に設置。燃料の備蓄は行っていない。

問 停電時、設置燃料タンク最大で何時間の電源確保ができるか。

答 庁舎で最大9時間。他の施設は把握できていない。

問 避難行動要支援者の人数は。停電時の対応は。

答 571名。民生員等に協力を求める。

問 ハザードマップの浸水想定区域の設定に高原川・関屋川は含まれているのか。

答 含まれていない。県に新たな調査を要望する。

要望 早急に調査を行い、町民へ周知すること。



調査を求めた高原川
(伊勢前付近)

各行政区運営の課題解決へ

問 組合未加入者への対応は。

答 各地域の事情に即したルールで制度化した方が現実的であると考え。転入者には行政区及び行政組合について紹介したチラシを配布し、加入を促している。

問 配布物等、区長の役務負担を軽減できないか。

答 その数は年々増加傾向にあることから、平成30年度に組合外の配布手数料について見直しを行った。



問 内部統制の実施に向けて

答 近隣自治体等を見ながら実施を検討

天本 勉 議員

問 地方自治法等の一部改正により、首長による財務に関する事務等の管理及び執行が法令に適合し、適正に行われることを確保するための方針策定と必要な体制（内部統制体制）の整備が、都道府県及び指定都市に義務づけられた。市町村は努力義務であるが、実施についてどのように考えているのか。

答 内部統制の4つの目的である業務の効率的かつ効果的な遂行、財務報告書等の信頼性の確保、業務に関わる法令等の順守、資産の保全については、組織運営上必要なことであると認識している。

リスク管理による不祥事等の未然防止や適切なリスク対応を業務上のルールとして整備する内部統制については、必要であると考えている。今後、近隣自治体や類似自治体の動向を見ながら、実施を検討していきたい。

今後、受注業者と工程の打ち合わせを行った上で、早急に地元説明会を開催し、工事に着手するよう計画されている。

問 治山事業は2回の入札不調となり、3回目で落札となったが、入札不調の要因と今後の見通しはどうなっているのか。

答 丸林地区・坊住地区の治山事業における入札不調の原因は、県に確認したところ、近県における山地災害のほか、道路・河川・農地等の災害の増加や建設業における技術者及び作業員不足が要因とこのことであった。

今後、受注業者と工程の打ち合わせを行った上で、早急に地元説明会を開催し、工事に着手するよう計画されている。

今後、受注業者と工程の打ち合わせを行った上で、早急に地元説明会を開催し、工事に着手するよう計画されている。

今後、受注業者と工程の打ち合わせを行った上で、早急に地元説明会を開催し、工事に着手するよう計画されている。

今後、受注業者と工程の打ち合わせを行った上で、早急に地元説明会を開催し、工事に着手するよう計画されている。



土石流により崩落した坊住地区

問 災害時の避難所受け入れは万全か

答 先進事例などを研究し整える

中村 絵 理 議員

問 避難所の生活が長期化した場合、どのような対応を考えているのか。

答 世帯ごとのプライバシースペース、相談室、授乳室、更衣室、育児室やこども広場なども状況に応じて設置する必要がある。

問 地域コミュニティやボランティアによる避難所運営マニュアルはあるのか。

答 町独自のマニュアルは作成していない。先進事例などを研究し、分かりやすい基本マニュアルを作成したいと考えている。

問 備蓄物資状況を示せ。

答 人口5%分の1日分の食料と毛布280枚を準備している。今後、配慮すべき物資については検討する。

問 高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊婦などのニーズに応じた配慮は考えているか。

答 現段階で考えられる備品など

現段階で考えられる備品など

現段階で考えられる備品など

は準備しているが、配慮すべき種々の事柄が生じた場合はその都度配慮する。

問 町民会館は避難所として重要な役割を果たす。高齢者や障がい者でもスムーズに行動できるよう動線や施設への配慮を促進させて欲しい。

答 今後、必要に応じて検討していく。

町民会館のバリアフリー促進について

町民会館は避難所として重要な役割を果たす。高齢者や障がい者でもスムーズに行動できるよう動線や施設への配慮を促進させて欲しい。

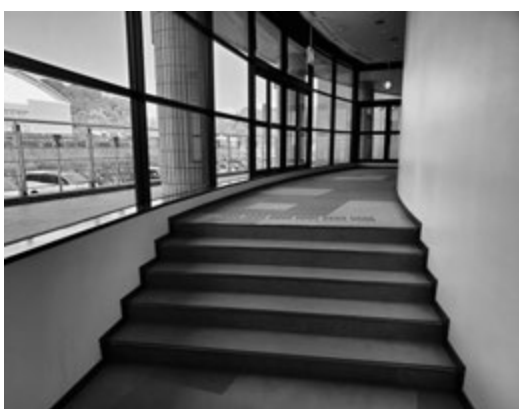
今後、必要に応じて検討していく。

町民会館に手すりを

町民会館に手すりを

町民会館に手すりを

町民会館に手すりを



町民会館に手すりを



問 町民満足度を上げる施策を

答 人材力・関係人口を意識し取り組む

末次 明議員

松田町政4年の課題を問う

問 町外利用者の多い公共施設に金を使うことが既存の住民に不満感を与えないか。町外からの高評価を町民は望んでいない。町民満足度（幸福度）を上げよ。

答 「もつと町外に基山をアピールすべきだ。基山町のポテンシャルを生かし切っていない」との意見が多く、町外へのアピールや関係人口を意識することが町民の満足度につながると考える。

問 エミューや基山PAふるさと名物市場での事業支援は必要だが、PR活動より利益を追求し、新規の基山ブランドの育成をせよ。

答 町が行っているPR活動を町民の皆さんに知っていただくことが必要である。ふるさと名物市場の更なる活用・充実を図る。

問 中山間地域の道路等の災害復旧は優先的に取り組むべきだ。地元住民に「私たちは取り残されて

いる」感を残してはならない。費用対効果を考慮しないで欲しい。

答 本町が実施すべき施策については公平に取り組む。中山間地域の重要性は十分認識している。



基山PAふるさと名物市場

問 基山キャンプ場は好立地にあるが町外利用者が多く、運営収支も赤字だ。多目的に利用したい。

答 これまで以上に関係団体に周知を図り利用促進に努めたい。周辺環境整備には配慮したい。



問 特別支援学級の電子黒板の設置は

答 今年度中に使用できるようにしたい

大山 勝代議員

問 基山3校の特別支援学級に電子黒板がない。昨年9月議会で設置を要望していた。検討されたか。

答 設置するとなると費用面が課題だ。現場の意見も参考にして、今各教室にある大型液晶テレビにパソコンをつけて使用できるようにしたい。

問 早急に使えるようにしてほしいがどうか。

答 今年度中に使用できるようにしたい。

コスモス教室の改善を

問 放課後児童クラブのコスモス教室の施設整備はどう改善されたか。

答 玄関踏み込みを新設、教室内に静養スペースや事務カウンターを設置をした。



お迎え時暗くなるコスモス教室への通路

問 今後の改善点は何があるか。

答 防犯カメラの設置や駐車場等の照明を検討したい。

問 アーバンロック（中庭）のブロックがはがれているところがある。子どもが遊んではがをする恐れがある。また、トイレの位置が死角になるので不都合だ。改善してほしい。

答 どう対処するかなるべく早く検討する。



問 教育長に就任しての所感は
答 児童数の問題は喫緊の課題

河野 保久議員

問 教育長に就任して2カ月が経過したが、現在の所感は。

答 基山町の活気・魅力を大いに感じている。新学習指導要領、教師の働き方改革への対応と共に、小学校2校の児童数の問題についても、喫緊の課題として、何らかの検討を進める必要性を感じる。

問 基山中学校の現状をどう考えるか。

答 今の雰囲気は良いと感じる。不登校の生徒数が少なくない点が課題だと思う。

問 基山小学校の現状をどう考えるか。

答 児童数も多く、活気ある学校の様子が伝わってくる。学力のレベルは全国と同レベルであるが、現場からはまだ課題があると聞いている。

問 若基小学校の現状は。

答 児童数の減にさみしさを感じ



教育行政のリーダー
柴田教育長

た。児童は元気いっぱい学習している様子がよかった。児童数の減少の部分と、学力向上が課題として挙げられるかと思う。

問 思い描く教育行政の姿はどのようなものか。抱負を含めての答えは。

答 地域から愛され、信頼され、誇れる学校づくり、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを目指す。小中一貫教育を推進し、学校・地域と連携し、学力向上や心身の健全育成に努めていく。



問 町営住宅駐車場代徴収は撤回を
答 4月からの徴収は見直す

松石 信男議員



町営本桜団地

た後に実施する。

問 特別な事情がある場合は使用料の減免ができる。生活保護世帯や障がい者、ひとり親家庭についても使用料の減免を提案する。

答 受益者負担、公平性もある。できるだけ減免対象者を広くしたい。

町営住宅連帯保証人は1名

問 町営住宅に入居する場合は2名の連帯保証人が必要となっている。先の議会では「削除を含めた検討をする」と答弁があったが、削除されたのか。

答 8月から従来の2名を1名にしたが、保証人の削除は考えていない。来々4月以降の入居者には、保証限度額（例えば家賃の1年分など）を定め、引き続き保証人を残して運用したい。改正内容はホームページに掲載しているが、新規の入居者には説明する。



問

なぜ、消防格納庫は町で管理しないのか
答 今後とも、地元をお願いしている

鳥飼 勝美 議員

問 基山町の各部消防格納庫は、誰が管理しているのか。

答 各部の地元行政区が管理している。

問 格納庫の管理は消防組織法により、町が管理し、その費用は町が負担するとなっている。消防組織法に違反しているのではないのか。

答 これまでも、地元自治会に管理をお願いしている。

問 今後は消防組織法の理念に基づき、町が管理すべきではないのか。

答 今後とも、地元自治会で管理してもらおう。町が管理することは考えていない。

町道塚原・長谷川線の延伸工事について

問 この路線は、町を南北に縦断する30年前から延伸計画のある路線であるが、いつ着工するのか。

答 現在工事中の町道三国・丸林

線が進んだ段階で、検討を進めたい。

問 基山町道整備計画を策定し、計画的に整備すべきではないのか

答 道路の個別計画を作成して行きたい。

問 中山間地域・市街化調整区域等の道路整備を含む、生活環境整備が進んでいないが。

答 令和3年度中に、個別施設計画を策定する。



町が管理すべき消防格納庫



問

児童数の格差解消等の議論を
答 多くの方々の意見を聞き検討する

栗野 久明 議員

小学校校区割り見直しについて

問 小学校2校の児童数と余裕教室の動向は。

答 基山小学校はやや増加傾向で余裕教室は無く、教室の改修等で今後の対策を図っている。若基小学校は、やや減少傾向で8教室程度余裕教室がある。

問 PTAや教育委員会で意見は出ていないか。

答 若基小学校校区の人口増対策や校区割り以外でもいい方法がないかなどの意見があった。

問 人口増対策は町が進める施策の大きな柱の一つで、庁舎内での情報の共有を図り、2校の児童数の格差解消等の議論が必要では。

答 地域住民や保護者等の多くの方々の意見を聞き検討していく。

改訂されたハザードマップ

問 何故、改訂されたのか。

答 国の法律で「想定し得る最大規模の降雨量」で策定するよう規定され、降雨量の確率は千年に1回の基準以下で作成した。

問 6区、12区の範囲で浸水想定区域がないのは。

答 高原川・関屋川のデータが無く作成できなかった。

要望 町民が信じるべきマップにそういった不備があってはならない。早い修正の対応を願いたい。



5月に改訂されたハザードマップ



問 空き家リフォーム補助を検討して
答 各市町の状況も参考にしたい

重松 一 徳議員

問 直近の空き家状況は。

答 11月の調査において、140件の空き家を把握している。

問 不良住宅除去補助の実績は。

答 平成28年度より行い、8件空き家を撤去した。今年度は2件撤去する。

問 撤去して更地になった以後は調査しているか。

答 危険な空き家を撤去する事業であり、その後調査はしていない。

問 補助金を活用して空き家を撤去した後の土地が有効に活用されるように指導すべきでは。

答 今後は調査等も行っていきたい。

問 空き家リフォームに対して補助の創設はできないか。

答 町独自の空き家リフォームへの補助は考えていない。国の制度もあり、周知を図っていきたい。

問 新婚や子育て世代が、空き家



空き家対策としてリフォーム補助を

への移住を検討する場合、リフォーム補助があれば有効だと思うが。

答 各市町を参考にしたい。

問 市街化調整区域の空き家対策は何かがあるか。

答 昭和48年に都市計画の線引きが決定したが、それ以前に建設された宅地については比較的自由に住宅建設が出来る。この制度を有効活用したい。



問 町立小・中学校の特別支援学級数は
答 小・中学校合わせて18学級

大久保 由美子 議員

特別支援教育の取り組みについて

問 3校の特別支援学級で、多い種別とその合計学級数は。

答 特別支援学級の児童数は5年前からすると3倍に増えている。種別では、自閉症・情緒障害（発達障害）の学級が多く、3校合わせ11学級ある。

問 支援教育の研修と課題は何か。

答 教員は障がいの子の特性に応じた様々な研修会に参加している。課題は、学級数増加で担任の確保が難しい。個別指導のきめ細かな準備と教材研究、支援員の配置など勤務時間が長くなる等もある。

問 インクルーシブ教育の考えは

答 障がいのある子どもが他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を行使できるように、合理的配慮の提供に今後も努めたい。



あわら市で学力向上について視察

全国学力・学習状況調査について

問 結果の分析と改善策は。

答 課題等を全職員で共有して授業改善に役立て、学校便りで保護者へ知らせた。朝のスキルタイムの充実を図り対応している。

問 意識調査の特徴や課題は。

答 全国と比べて、良い傾向は朝食を毎日食べている、自分には良いところがある、地域行事へ参加しているなど。課題は、1日の学習時間に関する項目が全国と比べ大きな差が見られた。

「議会だより」は 情報共有型をめざせ

広報広聴常任委員会

令和元年11月18日、広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に招き、「議会だより」が読まれる、伝わる「住民の関心を高め、参加促進情報共有を」の演題で、広報研修会が佐賀市で開催された。

紙面作成に関する基礎的な指導はもとより、今後の議会だよりは、主権者としての住民に、自治体をめぐる現状認識と、それに基づく問題や課題を提起し、解決に向けた参画を促す「情報共有型」への取り組みが重要になると解説。

また、10町中6町が議会だよりの診断を受けた。「基山町議会だよりNo.70号」では、特集記事による問題提起や各項の見出しの具体性など、他自治体には無い編集力について評価を受けた。

今後、さらに編集力向上を目指し、町民に読みやすい議会だよりの作成に取り組んでいきたい。

令和2年 第1回基山町議会 定例会の予定

3月3日(火)～23日(月)

一般質問 3月4日(水)～6日(金)



受講する県内各町議会の広報委員

議長交際費執行状況表 (令和元年度 7月～12月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方および行事名等	
賛助	5,000	7/23～25 被爆74周年原水爆禁止世界大会	
会費	20,000	10/17 松尾文則氏全国町村議会議長会会長就任祝賀会会費	
見舞い	2,000	令和元年8月佐賀県豪雨災害におけるお見舞金 (町村議会議長会へ)	
接遇	15,000	11/7～9 総務文教常任委員会視察研修 3件 11/12～14 厚生産業常任委員会視察研修 2件	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
4	42,000	6	51,294

編集後記

中学3年生はもう子どもじゃない。

中学3年生による子ども議会。携わった感想。議場での堂々とした発言もそうだが、発想が理に適っている。

基山町の魅力は何か？

基山町に足りないものは？

基山町を知ってもらうには？

ここから、どのような議案を提出するのかをみんなで議論して作りあげた。

提出された3議案とも素晴らしいと思う。確かに予想的な問題はあるが、だからダメではなく、どうすれば実現できるのか？みんなで考えることの重要性を中学生に教わった。

近い将来、この子の中から議員が誕生するだろう。

(重松一徳)

広報広聴常任委員会

委員長	松石 健児	委員	末次 明
副委員長	大山 勝代	委員	天本 勉
委員	重松 一徳	委員	中村 絵理

町の未来に向けた意見交換会

第7回 「町議会と語ろう会」 令和元年11月15日に開催
皆さんの熱い想いをたくさんいただきました。ご参加、誠にありがとうございました。



さまざまなご意見を分類しながらまとめる議員



和気あいあいながらも意見は真剣

その思い 町に届けます

町議会では、活動報告と併せて、意見交換会を毎年行っています。今回36人の方にご参加いただき、ジャンル別にたくさんのご意見をいただきました。

- ① 農業・商工業関連
- ② 定住促進関連
- ③ 防災・防犯・財政関連
- ④ 教育・子育て関連
- ⑤ 高齢者・福祉関連
- ⑥ 議会改革関連

ご意見の一部

- ・ 少額の農業災害への対策強化
- ・ 本校団地の空室対策
- ・ 中山間地の高齢化・人口対策
- ・ 外国人移住者の相談窓口設置
- ・ 雇用の場の確保
- ・ 災害時避難場所の距離の問題
- ・ ハザードマップ危険箇所への対応策
- ・ 子どもへのインフルエンザ予防接種の補助金強化
- ・ 高齢者のコミュニティ形成問題
- ・ 議員報酬や性別・年代 等

ご意見は、今後の議会活動に反映させるとともに、町長へ提言する必要があると思われるものは、後日、「議会だより」と基山町ホームページにて回答させていただきます。



要望などのご意見は総数70件以上



移住一年目のご夫婦も参加